

航空自衛隊仕様書			
仕様書の 種類	内容による分類	装備品等仕様書	
	性質による分類	個別仕様書	
物品番号		仕様書番号	
品名 又は 件名	バルジ台	CPS-B17571-2	
		大臣承認	平成 年 月 日
		作成	平成25年11月28日
		改正	平成28年10月 5日
			令和 6年11月21日
作成部隊等名	補給本部		

1 総則

1.1 適用範囲

この仕様書は、航空自衛隊C-2航空機（以下，“航空機”という。）の翼胴フェアリング部の整備作業に使用するバルジ台について規定する。

1.2 用語及び定義

この仕様書で用いる主な用語及び定義は、C&LPS-B99001の1.2による。

1.3 引用文書

この仕様書に引用する次の文書は、この仕様書に規定する範囲内において、この仕様書の一部をなすものであり、入札書又は見積書の提出時における最新版とする。

なお、引用文書に定める内容が、この仕様書に定める内容と相違する場合（法令等を除く。）は、この仕様書に定める内容が優先する。

a) 規格

JIS G 3101	一般構造用圧延鋼材
JIS G 3444	一般構造用炭素鋼鋼管
JIS G 3466	一般構造用角形鋼管
JIS G 4051	機械構造用炭素鋼鋼材

b) 仕様書

DSP Z 9008	品質管理等共通仕様書
C&LPS-B99001	航空機用機器工具一般共通仕様書
C&LPS-Y00007	調達品等一般共通仕様書

c) 法令等

航空自衛隊の立入制限場所への立入手続等に関する達（昭和57年航空自衛隊達第5号）

品 名	バルジ台
-----	------

d) その他

C-2 航空機の製造に関する技術資料 (川崎重工業)

PCP08LT0086-1 施設及び設備計画書 別冊1 機体データ・パッケージ
ジ

2 製品に関する要求

2.1 設計条件

設計条件は、C&LPS-B99001の2.2，C-2 航空機の製造に関する技術資料及びPCP08LT0086-1によるほか、次による。

なお、設計を実施するに当たり、現地調査が必要な場合は、官側と調整の上、現地調査を実施することが可能である。

a) 適合性 機体の重量重心に伴う機体姿勢の変化を考慮し、航空機とバルジ台が接触しないようにする。

b) 整備性 整備性は、次による。

1) 整備性に優れ、維持整備が容易であり、特別な教育を必要としない。

2) 整備に特殊な器材及び工具を必要としない。

3) 部品の入手が容易で、長期にわたり確保でき、継続して部品取得が可能である。

2.2 構成

構成は、表1による。

表1-構成

名 称	数量	単位
左舷バルジ台	1	EA
右舷バルジ台	1	EA

2.3 材料・部品

材料及び部品は、JIS G 3101, JIS G 3444, JIS G 3466, JIS G 4051及びC&LPS-B99001の2.3によるほか、ボルト等の小部品については、JIS規格品を使用し、緩み防止機能を有する。

2.4 加工方法

加工方法は、C&LPS-B99001の2.4による。

2.5 構造・形状・寸法・質量

構造、形状、寸法及び質量は、次によるほか、図1を基準とし、細部は、承認図面による。

2.5.1 構造・形状

構造及び形状は、次によるほか、左舷バルジ台と右舷バルジ台は、対称とする。

a) バルジ台は、航空機の翼胴フェアリング部の整備作業を行うために必要な作業用のプラットフォームを有し、プラットフォームへは階段により昇降可能である。

b) バルジ台のプラットフォームは、着脱可能な落下防止用の安全柵を設ける。

品 名	バルジ台
-----	------

- c) バルジ台を航空機に設置した状態において、航空機とプラットフォームとの隙間を最小限とするようスライド床を設ける。また、スライド床のスライド量及び最大荷重は、次による。
- 1) 内舷側各スライド床
 - 1.1) スライド量 810 mm以上
 - 1.2) 最大荷重 120 kg
 - 2) 外舷側各スライド床
 - 2.1) スライド量 1 010 mm以上
 - 2.2) 最大荷重 120 kg
- d) バルジ台と航空機が接触する可能性のある箇所は、保護部材を設ける。
- e) バルジ台の階段、プラットフォーム及びスライド床は、滑り止めを施す。
- f) バルジ台は、移動用の車輪を有する。車輪については、ウレタン又は同等以上の素材を使用するなど、移動時の省力化に配慮したものである。
- g) バルジ台の前後方向及び側面方向に、トーバーを各1 EA有する。
- h) バルジ台は、地上固定用のフロア・ロックを有する。

2.5.2 寸法・質量

寸法及び質量は、表2による。

表2—寸法・質量（片舷あたり）

最大寸法 ^{a)} (mm)			最大質量 (kg)
全長	全幅	全高	
7 000	3 200	4 900	3 000
注 ^{a)} スライド床、トーバー及び突起物は含まない。			

2.6 機能・性能

機能及び性能は、次による。

2.6.1 全般

バルジ台は、人力により、移動及び航空機への設置及び離脱が可能である。

2.6.2 荷重

荷重は、左舷、右舷バルジ台それぞれ次によるほか、最大荷重の3倍に耐荷する。

a) 左舷バルジ台 最大荷重 600 kg（分布荷重）

b) 右舷バルジ台 最大荷重 600 kg（分布荷重）

2.7 表面処理

表面処理は、C&LPS-B99001の2.6による。

2.8 製品の表示

製品の表示は、C&LPS-B99001の2.7による。

2.9 品質管理

品質管理は、DSP Z 9008によるものとし、要求事項は、DSP Z 9008の表1のcによる。

品 名	バルジ台
-----	------

3 品質保証

3.1 製品試験

製品試験は、2.6 の機能及び性能が満足していることを確認する。

3.2 監督・検査

監督及び検査は、契約担当官等の定める監督及び検査実施要領により実施する。

4 出荷条件

出荷条件は、C&LPS-B99001の箇条3による。

5 その他の指示

5.1 提出書類

提出書類は、C&LPS-Y00007の4.1により、次の書類を提出する。

- a) 類別原資料
- b) 取扱説明書（会社刊行技術資料）
- c) 特定化学物質等の資料
- d) 貴金属等管理資料

5.2 貸付文書

貸付文書は、C&LPS-Y00007の4.2.2 b)に基づき、表3によるものとし、無償で閲覧又は貸付を受けることが可能である。

表3－貸付文書

名称	文書番号等	部数	貸付場所
施設及び設備計画書 別冊1 機体データ・パッケージ	PCP08LT0086-1	1部	航空自衛隊 補給本部

5.3 承認用図面

契約の相手方は、C&LPS-Y00007の4.3により、次の承認用図面を作成の上、提出し、承認を受けなければならない。

- a) 外形図
- b) 組立図
- c) 銘板図

5.4 装備品等不具合報告（UR）対策

装備品等不具合報告（UR）対策は、C&LPS-Y00007の4.4による。

5.5 技術変更提案（ECP）

技術変更提案（ECP）は、C&LPS-Y00007の4.7による。

5.6 組立及び調整

組立及び調整は、次による。

- a) 契約の相手方は、バルジ台を官側の指定する場所へ搬入するに当たり、分解した状態で輸送せざるを得ない場合には、搬入場所において組立及び調整を行う。
- b) 組立及び調整に先立ち、組立及び調整の細部を定めた実施要領書4部を受領部隊の確認後、契約担当官等に提出し、承認を受けなければならない。

品名	バルジ台
----	------

5.7 立入制限場所への立入

契約の相手方は、部隊等の長が定めた立入制限場所へ立ち入る必要がある場合は、**航空自衛隊の立入制限場所への立入手続等に関する達**の定めるところにより、立入りを許可された者でなければならない。

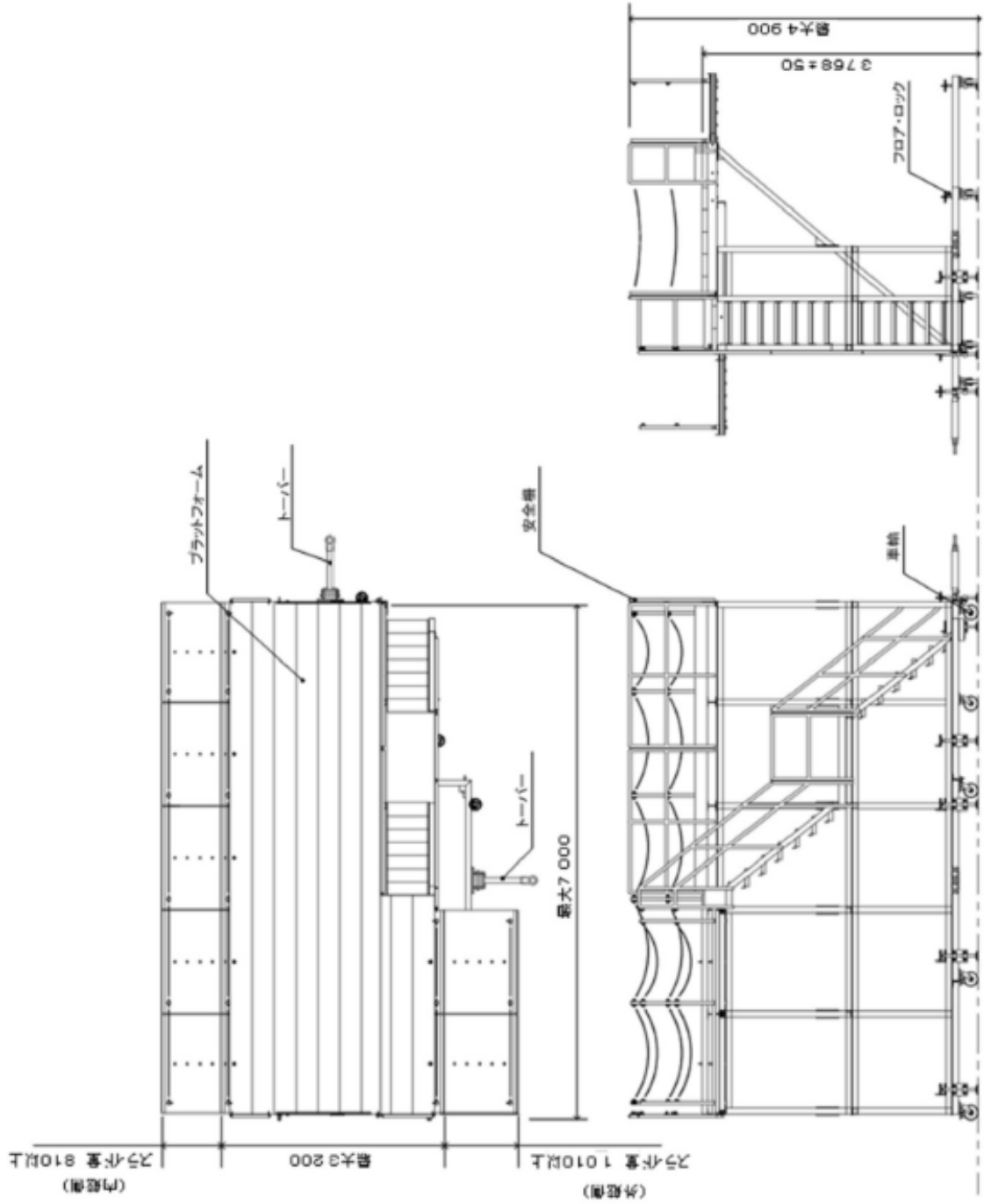
5.8 官側における支援

契約の相手方は、現地調査を実施するに当たり、官側の支援が必要な場合は、次の事項について、事前に官側と調整の上、無償で官側の支援を受けることが可能である。

- a) C-2 航空機の支援
- b) 現地部隊が保有する器材等の使用
- c) 現地部隊における搬入器材の保管及び作業のための施設提供

品名	バルジ台
----	------

単位 mm



左舷バルジ台 (右舷バルジ台は対称とする。)

図1-バルジ台